

【診断名告知文例】全2ページ

この文例の知的所有権はペック研究所に帰属します  
告知する際には、適応判断が重要です

\*\* \*\*くんへ

\*\*くんは、なぜ〇〇先生に会いに来ていると思いますか？

〇〇先生は児童精神科のお医者さんだけれど、\*\*くんは病気ではありません。

\*\*くんは**自閉症という脳のタイプ**なのです。

<以下の説明文に関しては注1参照>

自閉症の人は、まじめで正直な努力家が多いです。

好きなことには一生懸命とりくみ、知識を覚えることも得意です。

自分が納得したルールなら、人一倍まじめに守る誠実さがあります。

でも自分の気持ちをうまく言葉で説明するのが苦手な人が多いです。

友だち付き合いで苦労することもよくあります。

思っていたことと違っていたり予定が急に変わったりするのは好きではありません。

うっかり（ケアレスミスや忘れ物）で困っている人も多いです。

**自閉症は病気じゃないから治す必要はありません。**

**でも一人ひとりに合った工夫が必要です。その方が、自分もまわりの人も幸せになれます。**

\* せっかくの自閉症の脳の特徴を生かす工夫

\* 自閉症の脳のために困ったことが起きない工夫

よこはま発達クリニックの先生たちは、子どもが自分の得意なことを生かせるように、自分の苦手なことで苦労しないように、相談にのるのが仕事です。

<以下の説明文に関しては注2参照>

〇〇くんは好きなことにはすばらしい集中力と記憶力をはっきします。電車のことをよく勉強してたくさん知識ももっています。すばらしいしゅみです。それに\*\*くんは決めたお手伝いをきちんと実行するまじめさももっています。毎朝カーテンを開けて、毎回ゴミ出しをしてくれると、お母さんから聞きました。〇〇くんのまじめさとやさしさがよく分かります。

\*\*くんなら、きっといい工夫をたくさん見つけていけます。先生たちも手伝いたいと思っています。\*\*くんのいいところをもっともっと発揮できるように、これからも相談に来てね。

よこはま発達クリニック

〇〇 〇〇

【診断名告知文例】全2ページ

この文例の知的所有権はペック研究所に帰属します  
告知するには、適応判断が重要です

注1：自閉症特性の記述に関しては

- 1) 本人が納得しやすい特性を選ぶ（本人も気付いている行動特徴で、なおかつ本人が気持ちの上で受け入れられる範囲のもの＝具体的支援を受け対応の目処が立ってからでないと本人に確認できる行動特徴はとて限られてしまう）
- 2) 長所でもあることを必ず最初に確認する
- 3) 子どもの苦手や現実的困難の確認はあとの個別記載部分でなく一般化した形でこの自閉症特性の説明部分に記載する
- 4) 苦手の確認は本人の側に立って記載する（「みんなは嫌に思います」等の表現はしない）

注2：本人の行動特徴に関しては

- 1) 事前に親と治療者が相談して本人が確かにそうだと思う具体的長所を記載する
- 2) 「成績がいい」「一番をとった」といった相対的評価（今後の生活状況いかんでは維持されない可能性のあるもの）は避ける
- 3) 本人の自閉症らしい良さを記載する